

研究タイトル：当院における心筋保護法とその特色について

1. 研究の対象

対象：2013年4月から2022年5月までに連続右開胸低心臓心臓手術（以下：右開胸MICS）を受けた病客さま

2. 研究目的・方法

開心術では心臓を止めて手術を遂行する必要があるため、心筋保護と言われる心臓を保護する技術（保護液投与方法）の進歩が必要であり、開心術の成績向上に寄与している。

当院では2011年からSt. Thomas第2液をベースにして晶質性心筋保護（CCP）に変更し、右開胸MICSのみならず全ての開心術に適応し、良好な成績を得ている。

本研究は2013年4月から行われた右開胸MICSを対象に当院の成績を提示し、さらには60分以内に心臓の拍動を再開した症例と60分以上で心臓の拍動を再開した症例を比較することによって、長時間心臓を止めた場合でも安全であることを再度確認することで、学会での当院使用の心筋保護の安全性、および問題点をディスカッションするためのデータとして提示し議論できるようにすることを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病客背景（身長・体重・体表面性等）

病客データ（術前・術中・術後生化学データ・人工心肺関連時間・挿管時間・ICU滞在日数・合併症など）

4. 外部への試料・情報の提供

今回の検討では外部への情報提供はありません。

5. 研究組織

心臓病センター榊原病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病客さまもしくは病客さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先まで2025年3月31日までにお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病客さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：臨床工学科 中島 康佑

研究責任者：平岡 有努